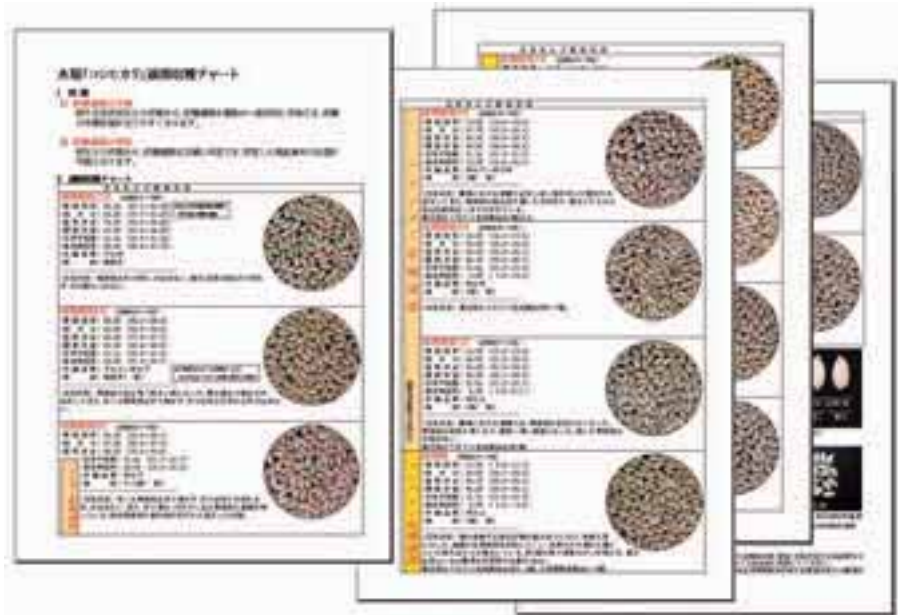


高品質コシヒカリ生産のための 適期収穫チャート

収穫適期の予測・判定が簡易で正確にできる「水稻コシヒカリ適期収穫チャート」を作成しました。このチャートは以下の特徴があります。

- 1) **収穫適期の判定** 籾などの状態から、収穫適期を正確に判定でき、高品質米の生産につながります。
- 2) **収穫適期の予測** 籾や立毛の状況から、収穫適期を事前に簡易にかつ正確に予測でき、収穫の作業計画作成などへの応用も可能です。

本チャートは成熟期前 11 日から成熟期後 12 日に撮影した籾の写真と、立毛状況などから構成されており、水田の稲と見比べることでコンバインやパインダーによる収穫適期を簡単に予測・判定できます。



コシヒカリ
収穫適期

成熟期 (出穂後22~28日)

- 帯緑籾率: 10.8% (9.8~11.7)
- 籾水分: 24.8% (24.1~25.0)
- 登熟歩合: 90.1% (89.0~90.1)
- 調製歩留: 88.4% (88.8~89.1)
- 玄米千粒重: 21.7g (21.4~21.8)
- 青米熟粒率: 4.0% (3.8~5.4)
- 外觀品質: 中の上
- 検査等級: 1等(1等)

立毛状況: 穂の彎曲する部分が穂の基のほうになり、角度も全くなかった。遠観では帯緑籾を半割りにくい、生育のやや遅れた穂についた籾もほとんど黄化している。約1割の穂で遠見分けが見られ、草丈は数cm~5cm(圃場の外周部では最大20cm)。
黄化籾のうちアミ色割合は約3~5割、小枝穂帯緑割合2~3割



籾の写真や立毛状況、帯緑籾率、籾水分、検査等級などが成熟期前後日数別の一覧形式に整理され見やすくなっています。

難しかった帯緑籾の判定を、写真と比較して行うことで、個人差なく高精度に判定できます。



帯緑籾判別基準